

事業者向け 児童発達支援自己評価表

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			持ち物(連絡帳・お弁当)をイラストと字で識別したカードを貼ったカゴに自分で入れることを徹底させている。ホワイトボードにはその日の予定を書き、見通しを持たせている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日居室の掃除機掛け、トイレ掃除を行っている。床・おもちゃ類・送迎車も固定曜日に掃除している。机や椅子も身長や発達段階、活動に合わせて使い分けをしている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		計画立案し、都度振り返りの場を設けているが、展開については不十分である。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		令和元年8月開所した事業所のため、自己評価を行うのが初めてである。今後、業務改善につなげていきたい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		令和元年8月開所した事業所のため、自己評価を行うのが初めてである。今後、業務改善につなげていきたい。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			他事業所見学を実施した。2020年10月には虐待防止研修に参加予定である。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			見学対応時にはなるべく児童と一緒に来所して頂き、観察を行っている。保護者の困りごとと、実際の児童の様子を客観的に分析している。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		児童個人に合わせている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			リーダーが立案したものをスタッフで検討し、実施している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の発達段階に合わせて運動、製作、戸外活動などを行っている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			児童の成長、気がかりな点等を朝礼の場を使って確認している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を取っている。改善点はスタッフ間で話し合いを行っている。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○		
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席し、会議で話し合われた内容はスタッフに報告している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				医療的ケアが必要な児童は在籍していない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				医療的ケアが必要な児童は在籍していない。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				これまでに移行支援に至った児童はいない。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				これまでに移行支援に至った児童はいない。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			近隣の公園・公共施設を利用している。地域のボランティア団体主催のイベントへ参加した。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎日連絡帳や児童送迎の引き渡し時に児童の活動の様子や、成長を報告している。保護者からも自宅や学校等での困りごと等の報告を頂いている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			希望者にはご自宅や事業所の相談室等で面談を実施している。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情やご要望を頂戴した時には必ず管理者に報告をしている。トラブル防止のため、答えられない内容についてはその場で回答せず、保留にし、管理者の指示を仰ぐようにしている。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的におたよりを発行している。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人に関するものは鍵付書庫で保管している。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			発語のない児童についても「楽しいね」「おもしろいね」と感情を代弁するようにしている。
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ感染症の影響もあり、人の出入りは最小限にしている。	
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		マニュアルの整備や室内掲示をしているものもあるが、発生を想定した訓練を実施できていないものがある。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			2020年9月に実施した。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			調査書に記述して頂き、事業所内保管するとともに、発作のある児童については対処法を確認している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		調査書に記述して頂き、事業所内保管しているが、表記のような対応までは至っていない。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例については都度事業所内共有し、安全策を講じている。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			2020年10月に実施予定である。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		身体拘束についてのマニュアルは整備しており、重要事項説明書にも記載している。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年 8月 31日

事業所名:こども療育教室さんぽ

保護者等数(児童数)

2 回収数

2

割合 100 %

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100					
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50			50		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	100					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100					
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	50	50				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50	50				

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※4等)が行われているか		50	50			
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			100			
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100					
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100					
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	100						
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか		50		50		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50	50				
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	100					
	23 事業所の支援に満足しているか	100					

この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			持ち物(連絡帳・宿題・お弁当)をイラストと字で識別したカードを貼ったカゴに自分で入れることを徹底させている。ホワイトボードにはその日の予定を書き、見通しを持たせている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和元年8月開所した事業所のため、自己評価を行うのが初めてである。今後、業務改善につなげていきたい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			見学対応時にはなるべく児童と一緒に来所して頂き、観察を行っている。保護者の困りごとと、実際の児童の様子を客観的に分析している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の発達段階に合わせて運動、製作、戸外活動、調理などを行っている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇はイベントを用意するなどメリハリのある活動を心掛けている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		/		医療的ケアが必要な児童は在籍していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など	
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			指を使って2択をさせたり、マカトンサインを持ちいたりして本人の意思伝達を尊重している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ感染症の影響もあり、人の出入りは最小限にしている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの整備や室内掲示をしているものもあるが、発生を想定した訓練を実施できていないものがある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			曜日によって利用する児童が異なるため、2020年9月に平日5日全ての曜日で実施した。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			2020年10月に実施予定である。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束についてのマニュアルは整備しており、重要事項説明書にも記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		調査書に記述して頂き、事業所内保管しているが、表記のような対応までは至っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例については都度事業所内共有し、安全策を講じている。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	70	10	20		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	80	20			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	80	10		10	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	90	10			コロナの影響で活動が制限される中、工夫して活動をしてくださった。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	80	20			コロナの影響で外活動は自粛している？
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	80			20	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	60		30	10	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90			10	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100				連絡帳や送迎時の対応が丁寧。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	80		10	10	
14 個人情報に十分注意しているか	100					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	70			30	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100				
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100				
	18 事業所の支援に満足しているか	100				